

お客様・パートナー様各位

fusion_place 5.1 リリースのご案内

2016年11月7日
株式会社フュージョンズ

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼を申し上げます。
本日、fusion_place の新バージョン「5.1」をリリース致しましたことをお知らせ申し上げます。

記

1. リリースの位置づけ

本リリースは、一般向け新機能版です。fusion_place cloud、premium が対象となります。fusion_place standard については提供されません。
フルバージョン番号は、5.1.1-S102 です。

2. ご提供方法

弊社（contact@fusions.co.jp）にお問い合わせください。お試しにご利用になる場合は、試用ページ（<http://www.fusions.co.jp/products/trial/>）からインストーラをダウンロード頂けます。試用許諾条件・使用許諾条件とも、旧バージョンから変更ありません。既存のバージョンからのアップデートは大変簡単です。弊社担当にご相談下さい。

3. 主な機能改善点（5.0.x 対比）

（1）多言語対応

ユーザが入力する名称などの文字列について、従来の日本語・英語に加えて、Java 環境上利用可能な任意の言語（ロケール）で文字列を登録し、表示に使用できるようにしました。#131

（2）海外拠点展開のための改善

プログラムダウンロード先サーバとリクエスト処理サーバを別々に設けることができるようにしました。本社との間のネットワーク回線の容量が小さな拠点から本社のサーバに接続して fusion_place を運用したい場合などには、リ

クエスト処理サーバを本社に置く一方で、プログラムダウンロード元サーバは当該拠点内のネットワーク上に配置することでネットワークトラフィックを抑制することが可能です。#607

※ fusion_place のプログラムファイルがダウンロードされるのは使用初回及びバージョンアップ時などに限定されますので、当機能を使用しなくとも問題のないケースが多いと思われます。

(3) 統合認証連携機能の改善

統合認証システムとの連携に際して、統合認証の対象外とするユーザアカウント名を指定できるようにしました。これは、リクエストによる定例処理に用いるユーザアカウントを統合認証システムに登録することがセキュリティポリシー上許されない場合への対応です。

詳細はユーザマニュアルの「システム運用管理の手引き>08.シングルサインオン>04.シングルサインオン利用のための設定」の「設定項目一覧」中、以下の設定項目（環境変数）に関する説明をご覧ください。#523

fusionplace/authentication/system_identity_assertion_enforcement_user_account_names

(4) 処理性能の改善

サーバ側での処理要求（＝リクエスト）同時実行性能を改善しました。従来のバージョンでは、リクエストを読み取り専用と読み書き用に分類し、リードライトロック方式（※）にて処理の実行を制御していました。新方式では以下のように変更しました：

- ① 各リクエストの処理を、読み取りステップ、計算ステップ、書き込みステップに分け、ステップを単位としてリードライトロック方式で実行制御する。
- ② 上記に加えて、元帳データ更新用リクエストのために、元帳版キーごとのロックを設け、同一元帳版に対する更新リクエストのみ並列実行されないようにしました（従来と異なり、更新対象の元帳版が異なる場合は並列実行可能となりました）。#612

※ リードライトロック方式とは、読み取り専用処理の複数同時実行を許し、その他の組み合わせでの同時実行を禁ずる排他制御方式です。

以上の対応により、同時実行が禁止される処理の粒度が小さくなり、処理性能がさらに向上致します。

他にいくつかの不具合修正を織り込んでいます、詳しくはインストーラに添付された change-log.5.0.2-S101.txt から change-log.5.1.1-S102.txt までの各ファイルをご覧ください。同ファイルはインストーラの zip ファイルを展開した際に現れる change-log フォルダにあります。

4. 新バージョンへのアップデートに際してのご留意事項

① Excel-Link アドインファイルの差し替え

当バージョンでは、Excel-Link アドインファイルが更新されています。当バージョンをご利用頂くには、Excel-Link を利用している各クライアント PC で、アドインファイルを差し替える必要がございます。

コントリビュータの「Excel 起動」ボタンを押下する以外の方法で Excel-Link をご利用のユーザは、アドインファイルを差し替えて下さい。

マネージャ／コントリビュータ／ブラウザいずれかを起動し、メニューから[オプション]>[Excel-Link 組み込み]を実行すると、アドインファイルが差し替えられます。その際は、Excel を終了しておいて下さい（Excel が起動しているとその終了を促すメッセージが表示されます）。

コントリビュータのみご利用のクライアント PC では、上述の手続きをあえて実行頂く必要はございません（Excel 起動ボタン押下時に自動的にアドインファイルが差し替えられます）。

なお、Excel-Link のバージョン番号は「5.0.4」となります。

② リクエストの新機能の利用(fusion_place premium, cloud のみ)

リクエストについて、今回、新機能による変更はございません。旧バージョンのリクエストを引き続きお使いいただけます。当バージョンのリクエストプログラムファイル (fusion_place-requester-5.1.1-S102.jar) は、インストーラの zip ファイルに同梱されております。cloud をご利用のお客様は、別途お伝えする URL からインストーラ zip ファイルをダウンロードして、上記ファイルを取得頂けます。

5. インストール方法

（クラウドでご利用の場合、インストールは必要ありません。）

インストール手続き自体は旧バージョン(5.0.1 以前) と変わりませんが、インストールの前に、旧バージョンでお使いのデータベースをバックアップするとともに旧版のソフトウェアをアンインストールして頂く必要があります。

詳細は、本リリースのインストーラに同梱されているユーザマニュアル (fusionplace-usermanual.chm) の以下の項目をご参照下さい :

「fusion_place をセットアップする」

> 「02. セットアップ手続き」

> 「04. fusion_place をバージョンアップする際の手続き」

また、インストール後、ユーザが fusion_place にログインする最初のタイミングで、データベースが最新のレイアウトに移行されます。移行処理は完全に自動的に行われますので、ユーザが手を煩わせる必要はありませんが、以下の点にご留意下さい。

- ① データベースに含まれるデータ量が大きい場合、移行処理に数分かかることがあります。
- ② 移行されたデータベースファイル群を、もとのバージョンで使用できるレイアウトに戻すことはできません。

以上